

日本沙漠学会
沙漠誌分科会 2020（令和2）年総会

2020年3月30日（月）
（新型コロナウイルス感染症対応のためメール審議）

次 第

ごあいさつ

メール審議の方法について

報告事項

1. 2019（令和元）年度活動報告・決算報告
2. 2020（令和2）年度活動計画・予算計画
3. その他

決議事項

1. 2019（令和元）年度決算
2. 2020（令和2）年度予算

ごあいさつ

時下ますますご清祥のことと存じます。

2020年3月30日（月）に大東文化会館（東京都・板橋区）での開催を予定しておりました沙漠誌分科会2020（令和2）年総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通常の形式での開催は困難と判断し、メール審議にて開催することといたしました。

異例の審議形式ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、総会と同日に開催する予定でした研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践」につきましては、5月をめどに延期する予定です。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の経過は、まだ先を見通せない状況であるため、さらなる延期の可能性があることを、お含みおきいただければ幸いです。

メール審議の方法について

以下の方法で、審議をさせていただきます。

2020年3月24日（火） 沙漠誌分科会2020（令和2）年総会資料の配布

2020年3月24日（火）～29日（日） 審議期間

・ 総会資料をご確認の上、報告事項・決議事項に対してご意見があれば、メールにてご意見をお寄せください。

・ 決議事項に対し、報告書と同時にお送りする、「議決権行使書」に承認の可否をご記入の上、29日（日）（必着）までにご返送ください。

2020年3月30日（月） メール審議締切。成立要件を満たした場合総会成立といたします。結果およびいただいたご意見に対する回答につきましては、追って沙漠誌分科会HP上で公開いたします。

以上、どうぞよろしく願いいたします。

沙漠誌分科会会長
縄田 浩志

1. 2019（令和元）年度決算活動報告・決算

（2020年3月18日現在、登録者数：63名）

1.1. 運営組織

分科会長：縄田浩志

事務局長：渡邊三津子

事務局次長：遠藤 仁

運営委員

財務委員（※委員長）：石山 俊※、石本雄大

広報委員（※委員長）：渡邊三津子※、古澤 文

編集委員（※委員長）：古澤 文※、遠藤 仁

企画委員（※委員長）

1.2. 総会

(1) 2020年3月30日（月）、沙漠誌分科会総会を、新型コロナウイルス感染症対応のためメール審議にて開催

1.3. 研究会・シンポジウム

（主催）

(1) 2019年10月20日（日）、横浜情報文化センター「情文ホール」において、秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディ・アラビア、ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」（横浜市）を開催。

1.4. 沙漠研究小特集

・ 沙漠研究の小特集論文として、2018年10月開催の研究会「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集を企画、投稿、査読中

1.5. 情報発信

1.5.1. ホームページ

分科会ホームページ（URL <http://sabakushi.com/index.html>）を用いて研究会情報や、会員から寄せられた分科会情報を発信した。

1.5.2. ニュースレター

活動報告なし。

1.5.3 メーリングリスト

2013（平成25）年度に再作成したリストを元に、研究会開催案内や、ニューズレター発行情報の発信等の情報共有を行っている。なお、メーリングリストは新規会員を加えて随時更新している。

1.5.4 Facebook

「沙漠誌分科会」の Facebook ページ (<https://www.facebook.com/sabakushi/>) をから、ホームページで公開した情報などを SNS 上でも公開している。

1.6. 決算報告

決算書（資料1）参照

2. 2020（令和2）年度活動計画・予算

2.1. 運営組織

分科会会長：縄田浩志（秋田大学国際資源学部）

〒010-0851 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学国際資源学部

連絡先（事務局）：渡邊三津子

E-mail: sabakushi.C@gmail.com

事務局

分科会長：縄田浩志

事務局長：渡邊三津子

事務局次長：遠藤 仁

運営委員

財務委員（※委員長）：石山 俊※、石本雄大

広報委員（※委員長）：渡邊三津子※、古澤 文

編集委員（※委員長）：古澤 文、遠藤 仁※

企画委員（※委員長）：未定

2.2. 総会

2021年3月をめどに、総会を実施する。

2.3. 研究会・シンポジウム

(1) 2020年5月（予定）、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践」（東京都・板橋区）を主催する。

- (2) 7月23日(木)～7月29日(水) モンゴル、ホスタイ開催国際ワークショップ「中央アジア牧畜文化の再評価」を共催する。
- (3) ホームページ, SNS, ニュースレター, メーリングリスト等を用いて情報発信を継続する。
- (4) その他 会員の皆様からの企画をお待ちしております。

2.4. 沙漠研究小特集

- ・ 沙漠研究の特集論文として、2018年10月開催の研究会「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集への投稿を継続。
- ・ 2019年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディ・アラビア、ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」に関する小特集を企画、投稿する。
- ・ 2020年7月開催予定の国際ワークショップ「中央アジア牧畜文化の再評価」に関する小特集を企画、投稿する。

2.5. 情報発信

1.5.1. ホームページ

引き続き分科会ホームページ(URL <http://sabakushi.com/index.html>)を用いて研究会情報や、会員から寄せられた分科会情報を発信する。

1.5.2. ニュースレター

ニュースレターへの投稿をお待ちしております。

1.5.3. メーリングリスト

引き続き、研究会や関連情報の発信のためにメーリングリストを活用する。なお、2年以上のメール不達会員が数名存在している。平成28年総会で承認されたメール不達会員への対応内容に基づきハガキによる連絡を試みる。

1.5.4. Facebook

SNSで発信する情報を随時募集する。

2.6. 予算

資料2参照

3. その他

分科会メンバーからの企画案を随時募集する。

資料 1

資料2 2019(令和元)年度沙漠誌分科会決算報告

資料2 2019(令和元)年度沙漠誌分科会決算報告						
収入	費用	H31(R1)年度決算額			摘要	
	前年度(R1)繰越金		¥36,388			
	合計(A)		¥36,388			
(単位:円)						
支出	費用	H31(R1)年度決算額	R1年度予算額	対予算額増減	摘要	
	会議運営費	¥19,280	¥12,358	¥6,922	10/20会場使用料消費 税増税分、ホール使用 料¥90,720(沙漠文化財 団立替分)は別途シン ポジウム開催費として 請求	
	会議出張旅費補助	¥0	¥10,000	(¥10,000)		
	情報発信関連費(1) ※ニュースレター関連	¥0	¥0	¥0		
	情報発信関連費(2) ※ホームページ関連	¥7,778	¥7,642	¥136	HP用サーバレンタル (¥5,238、請求書発行 ¥330、HP用ドメイン ¥1,886、請求書発行 ¥324)	
合計(B)	¥27,058	¥30,000	(¥2,942)			
収支C(A-B)		¥9,330				

資料 2

資料2 2020(令和2)年度沙漠誌分科会予算案

資料2 2020(令和2)年度沙漠誌分科会予算案					
(単位:円)					
収入	項目	2020(R2)年度予算			摘要
	前年度繰越金	¥9,330			R1年度分の収支C
	沙漠誌分科会活動費 (R1年度分)	¥27,058			R1年度分の活動費(合 計B)の沙漠学会からの 振込
	合計(A)	¥36,388			
支出	項目	2020(R2)年度予算	R1年度決算額	対前年度決算額増減	摘要
	会議運営費	¥10,000	¥19,280	(¥9,280)	
	会議出張旅費補助	¥10,000	¥0	¥10,000	
	情報発信関連費(1) ※ニュースレター関連	¥0	¥0	¥0	ニュースレター等印刷 費
	情報発信関連費(2) ※ホームページ関連	¥7,784	¥7,778	¥6	HP用サーバレンタル (¥5,238、請求書発行 ¥330、HP用ドメイン ¥1,886、請求書発行 ¥330)
	その他事務局経費	¥2,222		¥2,222	切手、はがき等
	合計(B)	¥30,006	¥27,058	¥2,948	
収支(A-B)		¥6,382			

※ これまで、分科会の決算報告後、次年度に支払われる分科会活動費を、「活動年度分」の収入に組み込んで計算していました。結果、分科会の決算書・予算書が非常に分かりにくい形になっていたため、本総会資料分からそれぞれの年度分の実態に合わせた形での収支報告に切り替えることといたしました。修正の結果、2020(令和2)年度予算案の収入に、2019(令和元)年度の活動費が見込み額として反映されています。